

微生物農薬

水稻種子伝染性病害防除剤



**防ぎたい病害がある!
守りたい環境がある!**



いもち病



苗立枯病(リゾプス菌)



ばか苗病

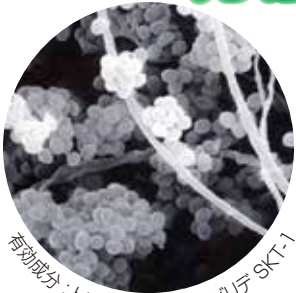


もみ枯細菌病



苗立枯細菌病

特別栽培米生産者に強い味方!



有効成分：トリコデルマ アトロビリデ SKT-1



- 有効成分:非病原性糸状菌 *Trichoderma atroviride* SKT-1 (含有量:1×10⁹cfu/g)
- 人畜毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指すいう通称)急性経口等(ラット)……病原性、生残性、感染性は認められない。
- 製剤の性状:暗褐色水和性懸濁液体

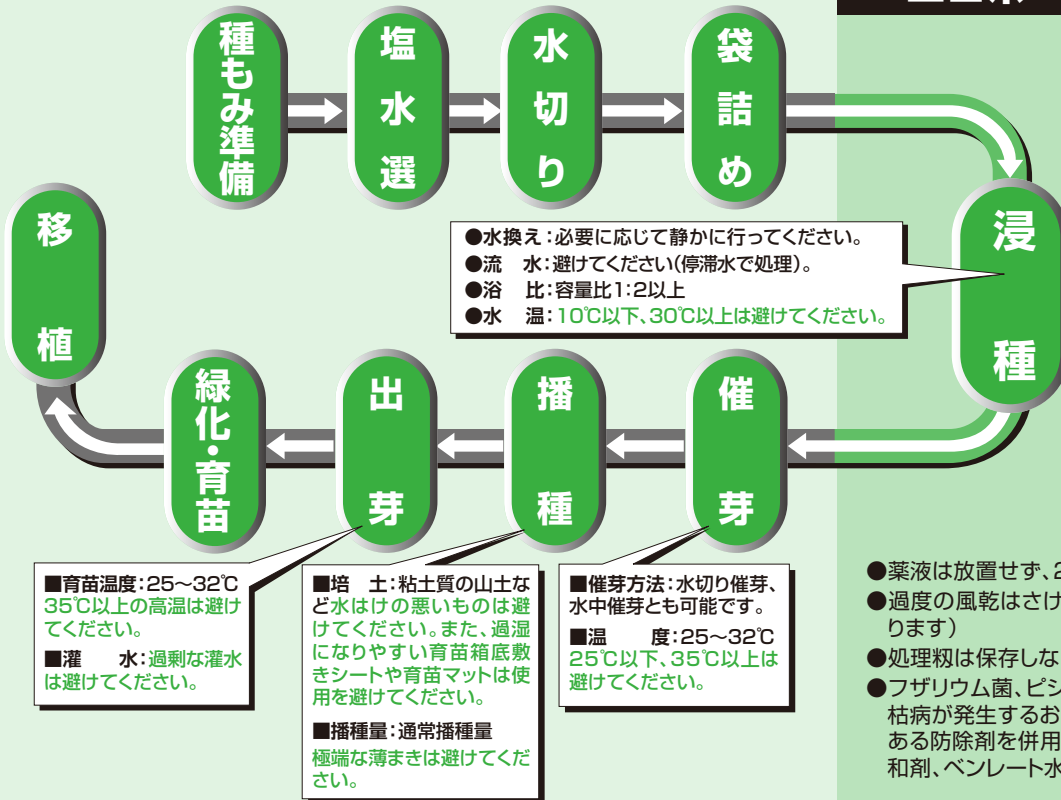
- 特長**
- 1 微生物を有効成分としたイネ種子伝染性病害防除剤です。
 (適正な育苗管理の下で効果を発揮しますので、生物農薬の特性をご理解のうえご使用ください。)
 - 2 従来の種子消毒剤と異なる防除作用で、イネばか苗病、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病に高い防除効果を示し、いもち病、苗立枯病(リゾープス菌)を含めて同時防除が可能です。
 - 3 生菌の微生物農薬ですので、特別栽培農産物において使用成分回数にカウントされません。
 (実際の使用、生産物表示にあたっては、地方公共団体等の認証機関にお問い合わせください。)
 - 4 安全性が高く、環境負荷が少ない環境保全型農業に適した資材です。
 - 5 薬害の心配がなく、浸種前から催芽時の任意の時期に使用することができます。

適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリコデルマトロピリデを含む農薬の総使用回数
稲	ばか苗病 もみ枯細菌病 苗立枯細菌病 いもち病 苗立枯病(リゾープス菌) ごま葉枯病	200倍	浸種前～催芽前	—	24～48時間種子浸漬	—
			催芽時		24時間種子浸漬	
稲 (箱育苗)	ばか苗病	50倍	は種時覆土前		育苗箱*1箱当たり 100mlを散布	
	もみ枯細菌病	200倍		育苗箱*1箱当たり 500mlを散布		

*育苗箱は30×60×3cm、使用土壌約5ℓ

上手な使い方(種子浸漬処理)



エコホープの使用時期

**浸種前～催芽時に
 1回使用
 (200倍液で
 24時間浸漬処理)**

- 発芽率の低下した種籾(古い種籾、保存状態の悪い種籾等)は、発芽不良や生育障害を起こしやすいので使用を避けてください。
- 浴比:容量比1:1以上(種籾4kgに薬液8ℓ)
- 薬液温度:10℃以下、30℃以上は避けてください。
- 軽く攪拌するだけで混ざります。
- 反復使用しないでください。

- 薬液は放置せず、24時間以内に使用してください。
- 過度の風乾はさけてください。(効果が劣る場合があります)
- 処理籾は保存しないでください。
- フザリウム菌、ビシウム菌、トリコデルマ菌による苗立枯病が発生するおそれがある場合は、これらに効果のある防除剤を併用してください。(ただしダコレート水和剤、ペンレート水和剤を除く)

保管上の注意

- 10℃以下の冷暗所で密封して保管してください。但し、凍結させないでください。
- 製造後8ヶ月以上経過した薬剤は使用しないでください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記憶しましょう。

本資料は2020年6月現在の知見に基づいて作成しております。 1856 (20-7)